

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみつぼし		
○保護者評価実施期間	2024年10月7日		～ 2024年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年10月7日		～ 2024年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの緊急時の対応や保護者の相談事に営業時間外や休日関係なく対応している	・保護者との連絡をLINEで行うことで緊急時以外は繋がりがすくなり、24時間対応が可能となった	・新たな新ソフトを導入することで保護者との連絡体制などの充実を図る
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のスペース(訓練室・バリアフリー)	・訓練室について設置基準には十分なスペースではあるが、児童の成長により動の動きがあり空間が狭く感じてしまう。 ・バリアフリーに関しては、廊下と部屋の段差はないが玄関先は段差がある。	・人数が多いときには、静・動の場所を分けたり、2部屋ある訓練室を活用し宿題・課題時を分けて狭いながらも静かに過ごさせている。 ・2部屋ある訓練室を活用し静かに行える環境を整えている。 ・今のところスロープを使う必要性がないため工夫はしていない。
2	トイレのスペース	・トイレが1階に1か所のみで、場合によっては並んで待つことがある。	・2階にもトイレがあり、できる限り1階で済ませるようにしているが、切迫性がある場合には2階のトイレを使用する
3	職員配置数	・経験を積みステップアップを求め若いスタッフの離職後の欠員補充ができないところ ・送迎が定員数の半分以上稼働することがあり、車両の運転に不安を抱えている ・土曜日や祝日が出勤のため	・送迎の回数を減らすように組みなおし、人材不足のため土曜日の開所をなくす方向で思案中

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスみつぼし

公表日 2025年 1月 10日

利用児童数 2024年 11月 30日

回収数 16/19

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1	1	・実際を見ていないのでわかりません	保護者の方にはいつでも見ていただけるようにはお伝えしております
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	6	1	2	・人員不足な面が見受けられます	人員不足はなかなか解消できないが、人が多すぎても支援の質が上がるとは思えません
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	2	1	・子どもが利用しているところを見ていないのでわからない	保護者の方にはいつでも見ていただけるようにはお伝えしております
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	2	・子どもが利用しているところを見ていないのでわからない	保護者の方にはいつでも見ていただけるようにはお伝えしております
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0		
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	4	4	・近くの公園で地域の子もたちと一緒に遊んでいて良いと思う	児童クラブとの交流に関しては、課題点多すぎて対応が難しい状態となっている。近隣の公園において地域児童と時間が合えば一緒に交流することがある
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	1	・夜のため中々参加できない (ZOOMなどオンライン形式にしてほしい) ・兄弟支援は受けたことがない	父母会や保護者会については、保護者様の仕事の関係等を踏まえて夜になるため難しいです オンラインについては検討していきます	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	・来年もぜひ利用したいです	もっと安心して過ごせる環境を作っています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	・来年もぜひ利用したいです	もっと安心して過ごせる環境を作っています
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスみつぼし	公表日	2025年 1月 10日
------	----------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・人数が多いとき、静と動の場所を分ける。 ・訓練室と食堂を組み合わせで対応している。	設置基準的のスペースはあるがスタッフや児童の動きにより狭さを感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・全体を把握できるよう、個別支援以外はワンツーマン対応を避ける取り組みを行っている。	基準的には満たしているが、ワンツーマン対応の意識が高いため、意識レベル向上。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・訓練室やトイレなどと、絵を貼ったりと視覚で分かるようにしている。 ・トイレは次の活動前に声掛けをしている。	玄関の段差解消やスロープなどが課題となっている。 トイレが一か所しかない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・生活空間の課題では、上記スペースに記載した通り二部屋に分けて活動している。 ・掃除では、後日職員が行う。	生活空間で活動量の多い子への環境に課題。 掃除は子どもたちが少ない時間で行うため、隅々まで行き届かない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・2階以外、全面使用可能となっているが、部屋は開けていることが条件（但し、クールダウンが必要な場合は除く）	課題は特になし
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎日、申し送りなどで振り返りを行う。	課題は特になし
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者の評価後、会議で皆に情報共有して保護者意向の点で改善できるところは改善に向けて行っている。	地域住民や児童クラブ等の対応が課題
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・できる限り意見を聞き、スタッフとともに働きやすい環境を心掛けている。	スタッフ不足の改善ができない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・特定による外部の評価をお願いしているわけではないが、来所される関係機関のスタッフより良い評価を頂いているため行っていない。	外部評価ではないが、来訪者からの意見を業務改善につなげるようにしている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・資格取得に向け、全面的にバックアップをしている。研修修了者がスタッフに振り返りとして報告している。	地域工リア的に研修受講が難しくオンライン研修が主となっている
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・支援プログラムの公表は準備中のため公表できていないが、プログラムは共有している。	自己評価と同時にホームページにアップする予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0	・アセスメントを基にニーズに沿った個別支援計画を作成している。	支援計画の内容が変更となり、難しさを感じている
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・利用者と携わっているスタッフとの情報共有をし、最善の支援を行えるよう検討している。	担当者制で児童発達支援管理責任者に情報を伝えるようにしている
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・計画書に沿った支援を行っている。	記録の表面に支援計画をファイルしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・ツールは用いてないが、行動観察などに沿ったアセスメントを行っている。	特になし
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・「本人支援」に関しては、個々に沿って支援内容を具体的に記載している。「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」支援プログラムをもとに作成している。	支援計画に記載が以前とは違い難しさを感じている。記載例以外についての質問に対応できる機関がない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・ミーティング時にスタッフみんなでプランを立て意見を出し合っている。	課題は特になし

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	・同じような内容でもアレンジを変えることで固定化しないように取り組んでいる。	課題は特になし
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5	0	・利用児童の帰ってくる時間がバラバラのため、時間がないときは個別支援、時間があつたときは、個別と集団活動を取り入れている。	課題は特になし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援開始前に、前日の振り返りと当日利用について担当者が役割の分担を行っている。	チーム連携を整えるも、児童により変更することもある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・支援終了後は、送迎や翌営業の準備があり、翌日の申し送りの際に打ち合わせや、気づいた点の共有を行っている。	支援終了後に送迎があり帰社後は退社時間となるため、振り返りが翌日になってしまう
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々の支援の記録を徹底し、検証したり改善につなげている。	課題は特になし
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・定期的にモニタリングを行い、見直しが必要な時には見直しを行っている。	見直しは行えている
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	2	1	・生活習慣に必要な支援を行い少しでもできるような家族と見守りながら進めている。	余暇の過ごし方に課題有
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・こちらから制限をかけるのではなく、選択肢の中から自分で選べるような声掛けや支援を行っている。	児童によっては、手を加えるところがある
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・いかなる時でも誰でも出席できるようにスタッフ全員で子どもの理解を深めている。	担当者会議には、極力理解した職員が参加する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・地域事業として全面的に支援協力体制は整っている。	特になし
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・児童発達支援センターとは、共通児童が多いことから支援について助言等を受けている。	連携がとれているため問題なし
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・児童クラブ側との交流は問題点が多いため交流を持つことができないが、事業所近隣の公園や社会体験先で、地域の児童との交流をしている。	児童クラブとの交流が取れない
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・送迎時や相談において、児童に対する状況などを伝えている。	直接は難しく、メールなどで内容を伝えることも有り
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・親子行事・父母会・保護者会を年に数回行いどこにでも参加できる機会を設けている。	行事などの参加型を行うも、全員参加が不能
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・各学校に予定表や連絡体制などを渡している。	急な欠席や時間変更の連絡方法	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・何か不明に思ったことなどは、情報交換を行っている。	特になし	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・卒業後に放課後等デイサービスでの支援内容をまとめて障害福祉サービス事業所に提供している。	特になし
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	・参加している。	朝からの利用や長期休暇などの時に参加できない
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・運営規程や支援プログラムは玄関に掲載している。	支援プログラムは今年度作成のため十分な説明はしていないが、利用者負担や運営規程は行っている
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・送迎時の車両内で児童の考えや、引き渡し時に保護者の意見を聞いている。内容が深くなれば時間を設けて事業所及び家庭訪問をしている。	課題は特になし
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・支援計画作成後、保護者に説明後内容に相違が無ければ受領していただきます。	保護者の方も忙しく計画後数日かかることも有り
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談等については保護者からの要望があれば、常に対応している。内容に応じて助言や支援を行っている。	課題は特になし
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・父母会の活動は、場所の提供と案内を協力している。保護者会に比べ出席率が低いため交流を設ける機会として保護者に配信している。	保護者同士の交流は支援しているが、きょうだい同士はできていない
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談や苦情には、迅速に対応している。	特に問題なし
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月通信を作り、活動内容や行事の報告をしている。尚、緊急に関しては事業所LINE登録の保護者に配信している。	特に問題なし
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・知り得た個人情報は、皆に共有し外部や社外に持ち出さないように注意を払っている。	特に問題なし
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・絵カード使ったり、文章にして必要な情報に対応している。	特に問題なし
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	・事業所内での活動に関しては、来訪者が来るが地域住民を招いての行事は行っていない。	課題点が多いため保留中
非常時等の対応	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・子育てに対する悩みや相談については、助言や支援は行っている。	課題点は特になし
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・マニュアルはあり、訓練も行っているが保護者には通信でしか伝えていないため周知しているかといえは不明である。	実施した訓練を保護者に伝えていくことが課題
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・定期的に必要な訓練を行っている。	避難場所への移動が課題
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・痲痺による対応方法や服薬方法の注意点を把握しわからない場合には訓練を行っている。	何度か確認は行っている
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・医師による指示書はないが、アレルギーがあった場合は、保護者からの指示により対応している。	特に問題なし
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全計画を作成し活用して支援を行っている。事業所内ではあるが研修や訓練は年に数回行っている。	安全に行っているが、課題が多い
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・家族等に安全面についてはメールにて都度報告している。	取り組み内容は伝えているが、周知としてとらえてもらっているかが課題
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・プチヒヤリを検証して、ヒヤリハットや事故につながるように小さなことにも注意喚起を行っている。	地域的に来所の時間がバラバラで、課題や遊ぶ子で小さなヒヤリを書ききれない
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・法人内合同や事業所ごとで、年に研修会を開催している。	研修を行うにあたり、時間調整が難しい

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・対象児童がないため支援計画には記載はしていないが、契約時に保護者には身体拘束については説明している。	課題は特になし
----	--	---	---	---	---------